

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5・6	「本人のしたい事を妨げていないか」「無意識に尊厳やプライバシーを損ねていないか」振り返りながら研修を行っているが、入居者に対して不適切ケアや虐待につながる介護に傾きがちな言動となりやすい。	入居者を中心としたケア(パーソンセンタードケア)につながるように、虐待の芽を早めにチームで見直すことができる。	ケア委員会(ユニットリーダー)が中心となり「虐待防止委員会」を設置。毎月2回、会議の時間を設け話し合い検討を行う。また認知症ケアを中心に強化月間をつくり、他者に評価してもらいながら自身のケアの振り返りを行う。	12ヶ月
2	17	感染症対策で来所、面会が減り、家族や関係者との話し合いが殆どなされていない現状がある。	本人の意向を中心にそれぞれの意見が反映された介護計画を作成することができる。	ご家族が来所された時や電話で普段の様子を伝え、ご家族の思いや要望などをお聞きするよう心がけているが、感染状況に合わせて、サービス担当者会議へご家族に参加頂き、よりその人らしいプランにしていきたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。